

慢性硬膜下血腫(翌日手術)入院診療計画書

患者さんのお名前()

主治医名()

看護師名()

作成日 年 月 日

日付	(/)	(/)	(/)	(/) ~ (/)	
目標	症状の増悪なく手術を迎えられる	症状の増悪なく手術を迎えられる	ドレーン抜去まで安静が守れ、術後合併症(後出血・疼痛・感染)なく経過する	術後合併症(後出血・疼痛・感染)なく経過する	
	転倒転落せずごせる	ドレーン抜去まで安静が守れ、術後合併症(後出血・疼痛・感染)なく経過する	転倒転落せずごせる	転倒転落せずごせる 退院後の日常生活の注意点が理解できる	
	手術前日	当日		1日後	
		術前	術後	2日後~8日後	
投薬	持参薬は確認のため看護師にお渡しください。医師の許可のもと開始となります。お薬は看護師が管理し、その都度お渡しします。			医師の指示のもと内服開始となります。新しく内服開始となる薬がある場合はその都度説明させていただきます。	
注射		手術前から点滴を行います。	手術後も継続して点滴を行います。	点滴は終了となります。空になったら針を抜きます。	
検査			手術後頭のCT撮影をします。	午前中に頭のCTを撮ります。 術後7日目に頭部CTを撮ります。その結果で退院可能となります。	
処置	必要時、髪の毛を剃ります。	術前に手術着に着替えます。	心電図モニターを装着します。	頭の管を抜き、創部の消毒をします。頭の管は翌日まで入れておく場合もあります。 傷の消毒、ガーゼ交換は毎日行いません。ガーゼが汚れた場合、剥けた場合に交換します。術後7日目に抜糸をします。	
看護情報	観察	体温・脈拍・血圧を測定し、麻痺や頭痛・吐き気などの症状の有無を観察します。	手術前に体温、脈拍、血圧の測定と麻痺の有無やしびれ、瞳孔の確認を行います。点滴の刺入部の観察、滴下の調節を行います。	体温、脈拍、血圧の測定と麻痺の有無やしびれ、瞳孔の確認を行います。頭に管が入っているため屈曲やねじれ、固定位置がずれていないか確認していきます。	
	指導・確認	入院オリエンテーションおよび手術の説明を行います。	出棟時には手術室まで家族に同行していただくこともあります。手術中は家族の方には病室で待機していただきます。やむおえず外出する場合は看護師に声をかけてください。	痛みがある時は我慢せず看護師に知らせてください。	
	清潔	安静に応じて清拭やシャワー浴を行います。			安静に応じて清拭等を行っていきます。
	安静度	安静度は医師の指示となります。お伝えする安静度をお守り下さい。	医師の指示のもと安静度は異なります。その都度伝えていきます。たきます。	ベッド上安静となります。頭に管が入っているため頭をあげないでください。	ドレーン(管)が抜けるまでは頭は起こさないでください。管を抜いた後は看護師と動くことができます。
	安全	・安全に入院生活を送れるよう、ベッド周囲の環境を整えます。 ・お荷物は床頭台に入る程度とし、引き出しにしまうようお願いいたします。 ・転倒の危険度を評価させていただき、床頭台に表示させていただきます。 ・安静が守れない場合や転倒の危険が高い場合は必要に応じてNsコールセンサーを使用させていただく場合があります。 ・術後は頭に管が入っているため、両手を抑制させていただく場合があります。			
排泄	安静度に応じて、トイレまたはベッド上で尿器・便器を使用し行います。トイレへ行くときは看護師が付き添います。	安静度に応じて、トイレまたはベッド上で行います。トイレへ行くときは看護師が付き添います。ベッド上では尿器や便器を使用します。	ベッド上で尿器または便器を使用し行います。	頭の管が抜けた後はトイレに行くことができます。看護師が付き添うので、必ずNsコールを押してください。	
リハビリ			必要時リハビリ依頼します。	必要時リハビリを行います。	
食事	食事内容は医師の指示で異なります。食事制限が必要な場合がありますが、食事形態の変更もできます。ご希望やアレルギー食品がある場合はお伝え下さい。	絶飲食となります。	手術後は医師の許可があれば飲水のみ行うことが可能です。	昼食から食事開始となります。手術後の状態に応じて、食事開始が変更になる場合もあります。	
特殊な栄養管理の必要性 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (どちらかにチェックを入れる)					

上記の通り説明を受けました

年 月 日

患者本人署名()

()親族または代理人署名()

続柄()

横須賀共済病院(2015.2.10)